



いちょうっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちょうっ子～

<学校教育目標> 児童数406名

[強く] 自信をもち、心身ともに鍛える子

[正しく] 深く考え、進んで学ぶ子

[美しく] 明るく、思いやりのある子

運動会で成長できました

秋の深まりを感じる頃となりました。校舎からは、音楽会に向けて練習する歌声や楽器の音色が聞こえてきます。

先月の30日(土)の運動会では、おかげさまで無事に実施することができました。

開会式での二人の応援団長の言葉。「宣誓! 私たちは今日、楽しみしていた運動会を迎えることができました。行動制限が無くなり、たくさんの方々に応援してもらえることに感謝します。力強く走り、頑張る仲間を応援し、赤組は真っ赤に燃える炎のごとく、白組は白く輝く稲妻のように、正々堂々、全力で挑むことを誓います。」6年生大島由芽さんと戸ヶ崎帆波さんの力強い言葉に胸が熱くなりました。



多くの保護者の皆様にご覧いただいたとおり、いちょうっ子たちは、多くのすばらしい笑顔を見せてくれました。子どもたちがいかに全力を尽くし、いかに多くのことを学んだか、演技を終えた子どもたちの素敵なお顔に表れていました。事前準備や片付け、当日の案内やパトロール等、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後も感動体験を大切にしながら、子どもたちの力をさらに伸ばしていきたいと思えます。

言葉を大切に、いじめを撲滅しよう

11月は「いじめ撲滅強調月間」として埼玉県では取り組んでいます。先日発表の文部科学省による昨年度調査では、全国の小・中・高校等でいじめ68万件過去最多とありました。本校でも昨年度2件のいじめがありました。どの学校・学級でも起こりうるものと捉え、いじめを早期に発見して対応した結果ではありますが、いじめを受けた子どもたちのことを思うと胸が痛みます。具体的な内容では、冷やかしか悪口が最多です。「口は災いの元」とよく言われますが、ぜひ、いちょうっ子には「言葉を大切に」して災いを招かないようにしてもらいたいと思えます。

子どもたちには、時と場に応じた正しく美しい言葉を覚え使って欲しいと思えます。私が気になるのは「やばい」、「えぐい」などの若者言葉の曖昧さです。多くの相手にわかりやすい正しく美しい言葉を使ってもらいたいと思えます。他人の悪口やひやかしか等の汚い言葉より「ありがとう」など思いやりのある言葉をたくさん使いたいものです。私の中では、「ありがとう」は間違いなく使いたい言葉ナンバーワンです。多くの人も同じかなと思えます。それでは、一番よく使う言葉は何でしょうか。私の場合、「おはようございます。」です。朝、いつものところで、子どもたちの登校を見守っているため、毎朝100回以上は使っていると思えます。どの子にも負けない清々しく心のこもったあいさつができるよう勉強中です。

「教育は、家庭の教えて芽を出し、学校の教えて花が咲き、社会の教えて実を結ぶ」と言われます。引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願ひします。

校長 藤村 郁夫